

## 外郭団体評価調書【公益・一般法人用】

## 1. 基本情報

令和5年7月1日 現在

団体名	公益財団法人 新潟水道サービス		
所在地	新潟市中央区紫竹山1丁目5番10号		
代表者(職・氏名) (所属・職)	理事長 川井 直光	電話番号	025-241-1221
	新潟市水道局職員OB	ホームページ	<a href="http://www.niigata-ss.jp/">http://www.niigata-ss.jp/</a>
市所管課	水道局総務部 総務課	電子メール	<a href="mailto:suidousa-bisu@niigata-ss.jp">suidousa-bisu@niigata-ss.jp</a>
基本財産 (基本金)	0 千円	設立年月日	昭和45年7月22日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市水道局	1,800 千円	100.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	<p>市民が安心して水道を使えるよう支援することを通し、文化的な市民生活の維持向上に寄与することを目的とする。</p> <p>①給水装置の診断及び調査事業  ②水道事業に関する知識の醸成事業  ③給・配水設備の維持管理に関する事業  ④その他この法人の目的を達成するために必要な事業</p>		
経営理念 経営方針	水道事業に関する公益法人として、給水装置の診断・調査や水道施設の見学説明会などの知識の醸成事業等、新潟市民が安心して水道を使えるためのサポート事業を展開していく。		

2. 主要事業

事業名①	給水装置の診断及び調査事業							
事業概要	<p>(概要)                  単身高齢者世帯を対象とするあんしん水道診断は、宅内の給水装置の調査・診断を行い、修理などの対処方法についてアドバイスや軽易な補修を行う。                  検針結果に基づいた漏水等調査は、水道メーターの検針結果に基づき、異常水量と思われる世帯を現地訪問し漏水等を調査し、漏水等が確認された場合は対応等をアドバイスする。</p> <p>(市政へどのように寄与・貢献するのか)                  市民の皆さまに対し、維持管理の困難な給水装置について簡易な補修を行うこと及び修理などの対処方法についてアドバイスを行うことにより、水資源の有効利用に資すること及び安心して水道を使用していただくことに寄与・貢献している。</p>							
	事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公益事業	-	支出額	千円	予算	120,573	121,122	117,958	118,555
				決算	112,567	117,432	118,941	-
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
あんしん水道診断	R5	件	190					
	R4	件	140	177	3年ぶりの実施となったが、お客さまニーズは高い			
	R3	件	140	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止としたため			
	R2	件	140	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止としたため			
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
検針結果に基づいた漏水等調査	R5	件	12,600					
	R4	件	12,600	8,364	漏水件数減少のため			
	R3	件	12,600	9,358	漏水件数減少のため			
	R2	件	12,600	12,063	ほぼ計画通りの実績			
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
	R5							
	R4							
	R3							
	R2							
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価	<p>あんしん水道診断については、3年ぶりの実施となったが、目標値を大きく上回る実績をあげることができた。当該事業は、少子高齢化により、今後さらに需要が高まっていくことが予想されるため、当該事業が確実に実施できるよう、支援・指導を行っていききたい。</p> <p>また、漏水等調査については、近年漏水件数の減少に伴いその実績が減少しているが、的確な調査の実施により、お客さまの財産を守ると共に、水道水の安定的な供給に寄与している。</p>							

2. 主要事業

事業名②		水道事業に関する知識の醸成事業						
事業概要	(概要) 「小学校授業」及び「福祉バス」における浄水場等施設見学や、「“水の都”新潟 みず探訪バスツアー」及び「動く親子水道教室」の実施、水道事業に対する「広報紙」を作製・配布し、水道に対する理解と知識の醸成を行う。 令和4年度以降、広報紙の配布業務については検針業務の委託先変更に伴い、当該委託先を通じ各戸配布を行っている。 (市政へどのように寄与・貢献するのか) 実際の浄水工程を見学していただくこと及び検針時に併せて水道事業内容や水道水のPR等を掲載した広報紙を配付することにより、水道事業の関心と理解を深めていくことに寄与・貢献している。							
	事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公益事業	-	支出額	千円	予算	24,839	24,120	20,522	15,020
				決算	21,301	22,674	18,853	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
「小学校授業」及び「福祉バス」における浄水場等施設見学の参加者		R5	人	5,300				
		R4	人	5,300	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止としたため		
		R3	人	0	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止としたため		
		R2	人	5,400	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止としたため		
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
「“水の都”新潟みず探訪バスツアー」及び「動く親子水道教室」の参加者		R5	人	200				
		R4	人	225	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止としたため		
		R3	人	40	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止としたため		
		R2	人	225	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止としたため		
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
「広報紙」の作製・配布 ※指標の変更 R4以降：作製数 R3以前：配布数		R5	件	1,328,000				
		R4	件	1,340,000	1,340,000	令和4年度以降、作製部数を記入。計画通りの実績		
		R3	件	1,332,000	1,311,006	ほぼ計画通りの実績		
		R2	件	1,332,000	1,320,692	ほぼ計画通りの実績		
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価		新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、お客さまと直に接する事業を中止していたが、令和5年度については例年通りに実施する見込みであることから、水道事業に関する知識醸成のため、今後の継続的な事業の実施に期待したい。						

2. 主要事業

事業名③		給・配水設備の維持管理に関する事業						
事業概要	(概要) 道路及び宅地内に発生した漏水や濁水、異臭味などの問い合わせに対し、現地調査等を行うとともに、水道に関する相談にも対応する。また、小規模貯水槽清掃の訪問指導を行う。							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 市民の皆さまからの相談に対応できるよう365日電話受付を行うとともに、集合住宅において貯水槽清掃を実施していない設置者に対して清掃を促し、市民の皆さまが安心して水道水を使えるよう、給・配水設備の適正な維持管理に寄与・貢献している。							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
公益事業	-	支出額	千円	予算	101,862	98,720	98,232	94,472
				決算	91,970	99,857	96,199	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
漏水等電話受付業務	R5	件	12,000					
	R4	件	12,000	13,210	寒波のため増加			
	R3	件	12,000	12,569	計画通りの実績			
	R2	件	12,000	11,551	計画通りの実績			
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
現場対応修繕業務	R5	件	3,300					
	R4	件	3,300	2,100	経年管更新により、管路の事故割合が低減しているため			
	R3	件	3,300	2,193	経年管更新により、管路の事故割合が低減しているため			
	R2	件	3,300	2,353	経年管更新により、管路の事故割合が低減しているため			
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
小規模貯水槽衛生管理指導業務	R5	件	150					
	R4	件	150	150	計画通りの実績			
	R3	件	150	150	計画通りの実績			
	R2	件	150	150	計画通りの実績			
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価		令和4年度についても、お客さまからの問い合わせに対して、電話受付から修繕サービスに至る一連の対応を確実に実施し、目標値を上回る実績をあげたことは、お客さまの信頼性向上に大きく寄与したと考える。また、貯水槽清掃の指導についても、計画通り確実に業務を遂行できていたことから、今後もこの水準を維持し、適切な貯水槽水道の維持管理に資するよう、当該事業の支援・指導を行っていく。						

2. 主要事業

事業名④		水道メーター検針業務						
事業概要	(概要) 定例の水道メーター検針業務を行う。 令和4年度以降、委託先変更に伴い、当該業務を行わないこととなった。							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 正確に、効率的かつ計画的な検針を行い、円滑な水道行政に寄与・貢献している。							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収益事業	受託事業	支出額	千円	予算	172,467	161,681	業務委託終了	業務委託終了
				決算	160,428	160,319	業務委託終了	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
検針業務	R5	件	-	-				
	R4	件	-	-			令和4年度以降、委託先変更により実績なし	
	R3	件	2,388,820	2,378,060			ほぼ計画通りの実績	
	R2	件	2,376,000	2,367,149			ほぼ計画通りの実績	
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
	R5							
	R4							
	R3							
	R2							
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
	R5							
	R4							
	R3							
	R2							
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価		当該事業については、令和4年度以降、当該業務の契約方式の変更により、委託先が変更となった。						

## 3. 組織等の状況

## (1) 役職員数の状況

令和5年7月1日 現在 (単位:人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
役員数	8	8	8	8
常勤	2	2	2	2
市派遣				
市職員OB	2	2	2	2
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	6	6	6	6
市兼任	3	3	3	3
市職員OB				
他団体兼任				
その他	3	3	3	3
職員数	53	55	50	46
常勤	28	28	26	25
市派遣	1	1	1	1
市職員OB				
プロパー職員	27	27	25	24
他団体からの派遣				
非常勤	25	27	24	21
市兼任				
市職員OB	4	6	3	3
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	21	21	21	18
見直し等の取組み				

## (2) 職員の状況 (市派遣職員を除く。)

\*市兼任も除く

令和5年7月1日 現在 (単位:人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
職員の状況	管理職				
	一般職	52	54	49	45
	合計	52	54	49	45
年齢構成	20代以下	3	2	0	1
	30代	8	10	10	10
	40代	18	16	15	15
	50代	11	12	13	12
	60代以上	12	14	11	7
	合計	52	54	49	45

## (3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(予算)
報酬・給与等	213,767	224,917	210,566	198,529
内 市職員分	871	1,042	1,066	1,001
役員	7,670	7,672	7,601	7,659
常勤	7,670	7,672	7,601	7,659
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
職員	206,097	217,245	202,965	190,870
常勤	143,599	147,592	141,631	132,150
内 市職員分	871	1,042	1,066	1,001
非常勤	62,498	69,653	61,334	58,720
内 市職員分				
平均年収(市職員を除く。)				
常勤役員	3,835	3,836	3,801	3,830
常勤職員	5,286	5,428	5,623	5,465
見直し等の取り組み				

## (4) 給与等の適正化の状況(市派遣職員を除く。)

現在の給与体系		今後の見直し予定	
●	団体独自の給与体系		有 予定時期 年度～
	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

## 4. 財務の状況

## (1) 正味財産増減計算書

(決算 単位：千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般正味財産増減の部	経常収益	515,018	514,024	312,763
	基本財産運用益			
	特定資産運用益			
	受取会費			
	事業収益	514,925	513,873	311,584
	自主事業収益	138	86	48
	受託事業収益	514,787	513,787	311,536
	受取補助金等・負担金			
	その他経常収益	93	151	1,179
	経常費用	504,143	510,665	311,605
	事業費	500,385	506,912	305,155
	公益目的事業費	292,214	301,447	291,655
	収益目的事業費	208,171	205,465	13,500
	(自主事業費)			
	(受託事業費)			
	法人会計			
	管理費	3,758	3,753	6,451
	評価損益等調整前当期経常増減額	10,875	3,359	1,158
	評価損益等	0	0	0
	基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等				
投資有価証券評価損益等				
当期経常増減額	10,875	3,359	1,158	
経常外収益				
経常外費用				
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	7,504	2,463	1,024	
一般正味財産期首残高	21,925	29,429	31,892	
一般正味財産期末残高	29,429	31,892	32,916	
指定正味財産増減の部	受取補助金等・負担金			
	その他(基本財産運用益)			
	基本財産評価損益			
	特定財産評価損益			
	一般正味財産への振替額			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
基金増減の部	基金受入額			
	基金返還額			
	当期基金増減額	0	0	0
	基金期首残高			
基金期末残高	0	0	0	
正味財産期末残高	29,429	31,892	32,916	

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲) 人件費	275,335	273,595	243,494
役員分	8,861	8,875	9,017
職員分	266,474	264,720	234,476



## (2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
資産の部	資産の部合計	111,055	122,768	106,287
	流動資産	63,955	76,198	59,731
	現金預金	17,484	29,795	30,471
	未収金	46,180	46,009	28,854
	有価証券			
	その他流動資産	291	394	405
	固定資産	47,100	46,571	46,556
	基本財産			
	特定資産	38,982	46,536	46,536
	その他固定資産	8,118	35	20
	有形固定資産			
無形固定資産				
その他投資等	8,118	35	20	
負債の部	負債の部合計	81,627	90,877	73,371
	流動負債	42,645	43,897	30,902
	短期借入金	6,000		
	その他流動負債	36,645	43,897	30,902
	固定負債	38,982	46,979	42,470
	長期借入金			
その他固定負債	38,982	46,979	42,470	
正味財産の部	正味財産の部合計	29,429	31,892	32,916
	基金	0	0	0
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	指定正味財産	0	0	0
	うち補助金			
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	一般正味財産	29,429	31,892	32,916
	代替基金			
その他一般正味財産	29,429	31,892	32,916	
(基本財産充当額)				
(特定資産充当額)		7,554	7,554	
負債の部及び正味財産の部合計	111,056	122,768	106,287	

## (3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市財政支出等の合計	514,787	513,787	311,536
補助金			
事業費補助金			
運営費補助金			
設備投資に係る補助金			
負担金			
交付金			
委託料	514,787	513,787	311,536
指定管理料（公募）			
指定管理料（非公募）			
業務委託（随意契約）	514,787	513,787	311,536
業務委託（その他）			
貸付金（期中借入額）			
出資・出捐金（追加額）			
その他			
貸付金残高	6,000		
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
債務保証に係る債務残高			
その他財政援助の状況 （税や使用料の減免、建物の無償貸与等）	事務所使用料免除		

## (市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

貸付金については、平成28年度に退職支給金の補てんのため、新潟市水道局から30,000千円の借入を行い、平成29年度から毎年度6,000千円ずつ5年間かけて返済し、令和3年度末で完済している。

委託料については、一部の業務について、一者随契から入札方式へ移行させることにより、現状の改善に努めている。また、随意契約を締結している業務については、令和4年度から一部の業務について入札方式へ移行し、委託先が変更になったことで減少したもの。なお、随意契約を締結している業務については、当財団が長年当局の事業を補完し、公益性の高いサービスを提供してきた実績に裏打ちされた高い専門性とノウハウを活用して、水道局と同水準のサービスがより経済的に提供され、業務効率化に寄与していると考えている。

## (4) 遊休財産の状況

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
純資産	29,429	31,892	32,916
公益目的保有財産	▲	▲	▲
公益目的事業を行う為に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産	▲	▲	▲
特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金	▲	▲	▲
合理的に算出された必要限度額以内の特定費用準備資金	▲	▲	▲
拋出者の意思に従って、使用・保有されている財産	▲	▲	▲
遊休財産額	29,429	31,892	32,916

## 5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

## （1）財務の健全性

指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常損益	当期経常増減額	10,875 千円	3,359 千円	1,158 千円
自己資本比率	純資産	<b>26.5</b> %	<b>26.0</b> %	<b>31.0</b> %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	<b>150.0</b> %	<b>173.6</b> %	<b>193.3</b> %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	68.8 %	59.0 %	61.8 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	5.4 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	29,429 千円	31,892 千円	32,916 千円
公益目的事業比率	公益目的事業費	58.0 %	59.0 %	93.6 %
	公益・収益目的事業費＋管理費			
遊休財産水準	公益目的事業費	9.93	9.45	8.86
	遊休財産額			
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	有	① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。 ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。 ④ 元本割れのリスクはない。	
		無		

## （2）団体の自立性

指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	3.6 %	3.6 %	<b>3.8</b> %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	100.0 %	100.0 %	99.6 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

## （3）経営の効率性

指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員1人当たり 売上高	事業収益	9,716 千円	9,343 千円	<b>6,232</b> 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	事業活動収支差額	205 千円	61 千円	<b>23</b> 千円
	職員数			
管理費比率	管理費	0.7 %	0.7 %	<b>2.1</b> %
	経常費用			
職員1人当たり 管理費	管理費	71 千円	68 千円	<b>129</b> 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	53.5 %	53.2 %	<b>77.9</b> %
	経常収益			
役員人件費比率	役員人件費	3.2 %	<b>3.2</b> %	<b>3.7</b> %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
●	有 計画名称 [ 公益財団法人 新潟水道サービス 中期計画 ] 計画期間 [ 令和2 ~ 令和6 ] 年度
概要・数値目標	
<p>平成21年度に平成30年度までの中長期経営計画を策定し、その方針に基づいて事業運営に努めてきたが、平成26年4月から公益財団法人に移行したことにより、平成27年度から平成31年度までの中期計画を経て、令和2年度から令和6年度までの中期計画を策定した。</p> <p>現在の中期計画では、中長期的な視点で超高齢化社会、水需要の減少、施設の老朽化等の外部環境の変化と水道事業の動向を見据え、市民の皆さまが安心して水道を使用することを支援する事業及び事業規模を設定している。計画に掲げた数値目標の実施に当たっては、外部環境の変化を踏まえながら適宜見直しを行い、効率的に事業を推進していく。</p>	
	無 未策定理由 [ ]

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
有	就任時期 年度～ 依頼先職種 [ ]	●	有 依頼時期 平成22 年度～ 依頼先職種 [ 公認会計士 ]
●	無		無

③ 事務処理改善の取組み	
●	有 取組内容 令和4 年度～ 令和4年4月1日付けで組織の再編を行い、課長が兼務となっていた2課7係体制から課制を廃止し、事務局長を中心に、事務局長補佐を3名配置した8係体制に変更し、組織のスリム化と管理面の強化を図るとともに、円滑な意思決定を行えるよう改正した。
	無

④ 人材育成の取組み	
●	有 取組内容 令和2 年度～ 現在の中長期計画に基づき、職員の「資格取得」実施と各種「研修・講習会」への参加を行っている。(令和2年度から5カ年計画で「給水装置主任技術者」「水道施設管理技士」「配水管技能者」等の資格取得及び技術関係の「専門別研修」、日本水道協会の講習会、また、資格取得の準備講習会に参加)
	無

⑤ 情報公開に関する規程の整備状況					
●	有 策定時期 平成12 年度～ 規程名称 [ 財団法人新潟水道サービス情報公開規程 ] ※平成26年度からの名称「公益財団法人～」	団体ホームページ掲載	●	定款等	平成 19 年度～
	無 未整備理由 [ ]		●	事業内容	平成 19 年度～
			●	役員名簿	平成 19 年度～
			●	役員報酬	平成 19 年度～
			●	事業報告	平成 19 年度～
			●	正味財産増減計算書	平成 19 年度～
			●	貸借対照表	平成 19 年度～
			●	事業計画書	平成 19 年度～
			●	予算概要	平成 19 年度～

改善対応区分
A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
B:改善の取組の効果が始まっている
C:改善の取組に着手
D:改善の取組に向けて検討中
E:今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

（1）前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項		「経営基盤の安定化」については、公益目的事業比率の達成自体を目標として取り組むのではなく、市民生活の維持向上に有効な公益目的事業とは何かを検討し、その効果的な実施に取り組むことを目標とするべきである。							
改善のために取り組んだ内容		あんしん水道診断は令和2、3年度と新型コロナの影響で中止としていたが、令和4年度はお客様への訪問時の安全に配慮し、診断項目を見直したうえで実施した。							
取組みによる成果		対象となる世帯数、1巡目での実績等を勘案し予定件数を設定していたが、それを上回る申込数（予定140件／申込184件）となり、お客様のニーズが高いことがうかがえた。							
改善・対応区分		A	B	●	C	D	E		
改善に向けた取組み 評価指標	実施事項	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
	あんしん水道診断アンケート調査(満足度・その他意見等) (%)	計画	98.0%	98.0%	98.0%				
		実績	調査実施せず	調査実施せず					
	進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 コロナ禍であり、対面を避けるためアンケート調査は実施しなかったが診断後は感謝のお言葉を多くいただいた。早期に通常の診断としたい。							
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 対面を避けるよう、診断項目の見直しを実施した。あんしん水道診断の意義は給水装置の診断だけではなく、お客さまとのコミュニケーションも重要であると考えている。早期に通常の診断ができるようにしたい。							
	課題への対応	【今後の課題への対応】 75歳以上が対象の事業であることから、社会情勢等に注視し、安全対策を行ったうえで満足度の高い診断としたい。							
	バスツアー・施設見学のアンケート調査(理解度・効果等) (%)	計画	95.0%	95.0%	95.0%				
		実績	調査実施せず	調査実施せず					
		進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 令和4年度はコロナ過での実施に向けて準備を進めていたが、応募者を募る段階で新規感染者数及び病床使用率が急上昇したため、中止とした。						
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 令和5年度は新型コロナが5類に移行されたこともあり、例年通り実施する予定である。バスツアー参加者の平均年齢が70歳前後であることから、より広い年齢層に興味を持っていただける見学地の選定や募集方法について検討する必要がある。						
課題への対応	【今後の課題への対応】 広い年齢層に見ていただける募集媒体を検討する。								

改善指示事項		検針業務など市からの受託業務が将来的に競争入札に変更される場合に備えて、団体の自立性や強みをより高める取組みを行う必要がある。				
改善のために取り組んだ内容		当財団は新潟市水道事業のお客サービスの前線で業務を行っていることを自負し、職員個々のスキルアップに努めるとともに、健全な事業運営継続のため、新たな受託事業について、水道局と協議を行っている。				
取組みによる成果		新規業務の受託に向けた水道局との協議を通じて、双方の考え方や課題等が整理できた。				
改善・対応区分		A	B	C ●	D	E
改善に向けた取組み 評価指標	実施事項	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	計画	実施	実施	実施		
	実績	実施	実施			
	進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 新たに受託可能な事業について水道局総務課と協議する場を設け、検討している。				
	今後の課題	【取組み状況を踏まえた今後の課題】 業務のボリューム、当財団の人員やスキル等を勘案するとともに、お客さまサービスの向上に向けてより具体的に検討を深める必要があると考えている。				
課題への対応	【今後の課題への対応】 新たな業務の受託により、新潟市水道事業の効率のかつ効果的な業務執行に寄与できるよう、継続的に協議をしていく。					

改善指示事項		令和4年度の検針業務の受託停止を見据え、団体が今後担っていく業務について水道局と協議、整理を進める必要がある。				
改善のために取り組んだ内容		新たに受託可能な事業について水道局総務課と協議する場を設け、検討した。				
取組みによる成果		新たな業務の受託に向けて、より具体的に検討を深める必要があるとの認識を共有した。				
改善・対応区分		A	B	C ●	D	E
改善に向けた取組み 評価指標	実施事項	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	計画	調査	検討・協議	検討・協議		
	実績	調査	調査・検討			
	進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 受託可能な業務について検討を行った。				
	今後の課題	【取組み状況を踏まえた今後の課題】 新たな業務の受託に向けて、より検討を深め水道局と当財団で認識を共有する必要がある。				
課題への対応	【今後の課題への対応】 より具体的に検討を深める必要があると考えている。					

改善指示事項		新事業の実施を踏まえた効率的な人員配置を検討していく必要がある。				
改善のために取り組んだ内容		新事業の受託を見据えて、効率的な人員配置がとれるように組織体制の見直しを行った。				
取り組みによる成果		有機的な人事異動が可能になり、幅広い水道知識を有する職員を育成できる。				
改善・対応区分		A	B	C	D ●	E
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	計画	検討・協議	検討・協議	検討・協議		
	実績	検討	検討			
	進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 具体的な業務の内容が見えてきた段階で協議する。				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 知識や技術の継承を行う必要がある。				
	課題への対応	【今後の課題への対応】 定年退職者も発生することから、長期的な視点で人員配置をする必要がある。				

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

<b>財務の健全性</b>	事業が減少となったことで経常損益は減少となったことに伴い、公益目的事業費率は増加した。
<b>団体の自立性</b>	水道局から受け取った補助金はなかった。職員数の減少があり市職員比率が増加した。
<b>経営の効率性・適正性</b>	事業構成が変わったため、職員1人当たりの売上高、経常収益は減少し、管理費割合及び人件費比率が増加した。今後経営状況の改善に向けて、水道局と新規業務の受託に向けた協議を進めつつ、更なる業務効率化を図っていきたい。
<b>その他</b>	

【新たに改善を要する事項】 ※「6. 経営改善状況」に記載のもの以外で改善を要する事項を記載

今後改善を要する事項					
評価 指標	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	計画				
	実績				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】			
	課題への対応	【今後の課題への対応】			

【団体による総括的な評価】

各種評価指標が示すとおり更なる改善が必要な項目もありますが、引き続き財務の健全性に努めていく。
---

【所管課による評価】

<p>昨年度については、3年ぶりに「あんしん水道診断事業」を実施し、その実績等から市民からの需要が高く、効果的な事業であることを再認識した。昨年度新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした事業についても、必要な対策を講じ、より効果的かつ効率的に実施できるよう支援・指導を行っていく。</p> <p>また、公益財団法人としての高い信頼性に加え、当財団が有する本市水道事業に関する包括的な知見に基づき、当局と同水準のサービスをより経済的に提供して業務効率化に寄与できる優位性を活かし、新規業務の受託に向けた自立的な企画提案が実施されるよう支援を続けていく。</p>
--



【総合評価】

概ね良好	改善の余地がある	● 改善が必要	抜本的な対応が必要
<b>総括的な所見</b>			
団体の自立性を確保するためには、引き続き水道局と協議し、業務を受託することが必要であり、指導を仰ぎながら新事業を含む事業受託に向け具体策を検討すべきである。			
<b>改善指示事項</b>			
受託可能な事業を検討する材料として、他地域の同業団体の状況を調査することも必要である。 あんしん水道診断の実施目標数を現在の水準以上に行える体制整備を早急に実現し、質・量ともに拡大すべきである。			

【総合評価を受けての団体としての決意】

令和6年2月22日 理事長 川井 直光 新事業の受託に向け、課題を整理し具体策の検討を行う。あんしん水道診断について、現状の取り組み内容を点検・評価するとともに、診断対象年齢の引き下げ等、市民ニーズに対応した業務執行体制を整備し市民サービスの向上を図る。
--

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

<b>改善指示事項</b>		受託可能な事業を検討する材料として、他地域の同業団体の状況を調査することも必要である。				
<b>評価指標</b>	<b>実施事項</b>	<b>令和4年度</b>	<b>令和5年度</b>	<b>令和6年度</b>	<b>令和7年度</b>	
	聴取・整理・調査・検討・協議	計画	聴取・整理	調査・検討	協議	協議
		実績	聴取・整理	調査・検討		
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 他地域の同業団体の受託状況を参考にしながら、新潟市水道事業の効率かつ効果的な業務執行に寄与できる新事業の受託について、検討していく必要がある。				
課題への対応	【今後の課題への対応】 継続的に水道局と協議を行う。					

<b>改善指示事項</b>		あんしん水道診断の実施目標数を現在の水準以上に行える体制整備を早急に実現し、質・量ともに拡大すべきである。				
<b>評価指標</b>	<b>実施事項</b>	<b>令和4年度</b>	<b>令和5年度</b>	<b>令和6年度</b>	<b>令和7年度</b>	
	調査・検討・準備・実施	計画	-	調査・検討	準備	実施
		実績	-	調査・検討		
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 診断対象年齢の引き下げ等に向け、限られた人的資源の中で業務執行体制を整備する必要がある。				
課題への対応	【今後の課題への対応】 診断申込件数の増加予測を分析し、効率的な人員体制の確立及び実施方法を検討する。					